

ぜん息でお悩みの方へ！

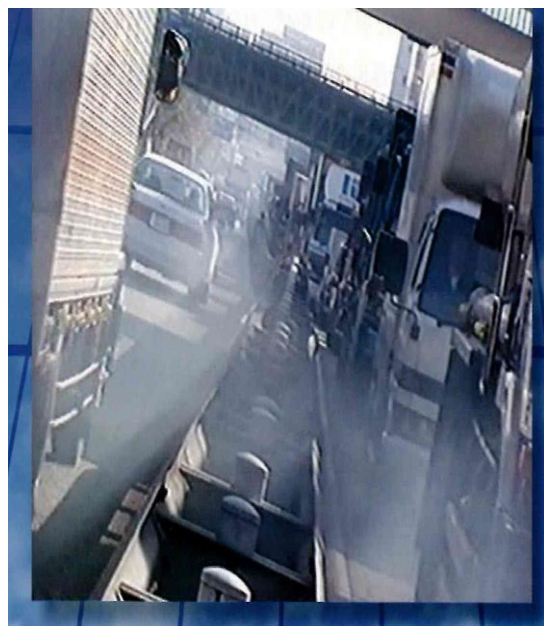
私たちは、ぜん息の患者でつくる患者会です。

私たちは、国に対し「ぜん息患者医療費救済制度」の創設を求め、署名運動に取り組んでいます。

ぜん息の原因は、自動車排ガスに含まれるNO_x(窒素酸化物)やPM_{2.5}(微小粒子状物質)等と言われています。国の規制や自動車メーカーの技術で防ぐことは十分可能でしたが、国も自動車メーカーも怠ってきたのです。

東京地方裁判所判決(2002年)は、自動車メーカーの社会的責任を認めた判決を言い渡しました。

その後、東京都は、「ぜん息患者医療費救済制度」を実施しました。救済制度のおかげでぜん息患者が安心して治療が継続して受けられ、症状の軽減化と改善に役立っています。



東京保険医協会副会長

あかばね いわお
赤羽根 巖

都のぜん息医療費助成制度で重症患者が減った！！

～ 制度を全国に広げよう～

ぜん息の本態である気管支の炎症を抑える吸入薬が、近年開発され効果をあげている。しかし、薬価が高額なため、自己負担が大きくなり、ぜん息患者が可能な限り通院を我慢してしまうという傾向が、われわれの医療機関でも日常であった。

ところが2008年8月、東京都のぜん息医療費助成条例が発足すると、こうしたぜん息の重症患者が目に見え

て減り、多くの患者が定期的に通院するようになり、適切な医学管理のもと良好な経過をたどるようになった。

統計によれば、全国で1985年以降ぜん息死が最も多かったのが1995年の7000人以上であったが、2010年には約2000人に大きく減っている。今後、都のぜん息医療費助成制度が全国に広がれば、この動きはさらに加速するに違いない。ぜん息死ゼロの実現は、決して夢物語ではないのだ。

ぜん息患者医療費救済制度づくりに参加しませんか

<連絡先>

全国公害患者の会連合会

東京都新宿区新宿2-1-3

サニーシティ新宿御苑10階

TEL 03-3352-9475

東京公害患者と家族の会

東京都文京区大塚4-2-11

恩田ビル304

TEL 03-6912-1656

川崎公害病患者と家族の会

川崎市川崎区砂子2-8-1

シャンボール互惠ビル304

TEL 044-211-0391